HP NonStop servers

長年の NonStop ユーザが HP NonStop サーバを選ぶ理由、
そしてより進化させた HP NonStop サーバを低価格で提供する HP の取り組み

インテル® Itanium® 2 プロセッサ搭載 HP Integrity NonStop サーバ

業界最高水準の信頼性とパワフルな性能を提供し、さらに多くの標準テクノロジーを採用するプラットフォームの誕生

1976 年、HP NonStop サーバによって高可用オンライン・トランザクション処理という分野が確立されて以来、ダウンが許されないアプリケーションを動かす企業にとって HP NonStop サーバは一般的な選択肢となっていました。そして、HP NonStop サーバは、64 ビットのインテル® Itanium® プロセッサを搭載した新しい Integrity HP NonStop サーバへと進化し、より向上した信頼性とよりパワフルな性能を提供し、より多くの標準テクノロジーを採用しています。

さらに、HP Integrity NonStop サーバ製品ラインは、これまで以上に競争力の高い標準チップセットを採用しています。これにより、以前は価格面などで HP NonStop サーバが検討対象外であった企業においても、30 年近く提供され続けている極めて高品質のサービスレベルと最高の信頼性を実現し、投資の保護を実現できるサーバの導入が可能になります。

より多くの企業が求める 24 時間 365 日のかつてないレベルの可用性

多くの企業のビジネスモデルが変化し、数ヶ月から数年という長期にわたり 24 時間 365 日の継続した可用性が求められるようになってきています。このため、HP Integrity NonStop サーバの提供する優れた可用性へのニーズがさらに高まっています。

米国有数の電子決済企業 NYCE Corporation の IT サポートサービス取締役 Brian Mecca 氏は次のように語っています。「私達がこのサービス (ATM および POS ネットワーク・サービス) を開始した数年前の時点では、お客様は、24 時間 365 日いつでもカードが使用できることを当然とは考えていませんでした。しかし、今では違います。」現在、NYCE では、一ヶ月あたり約 1 億 2 千万件のトランザクションを処理しています。ネットワークに接続する 2,244 の機関で、1,072,900 箇所のポイント・オブ・セールス (POS) と NYCE ブランドの 191,000 台の ATM から入る 5,900 万人のカード保有者のトランザクションを処理しているのです。

invent

NonStop テクノロジーが提供する信頼性が NYCE に必要不可欠なのは、次のような理由からです。Mecca 氏は続けます。「現在では、お客様がご自分のお金を扱えないとなれば混乱状態に陥り、さらにしばらく後、損失や赤字という影響が販売者側に波及します。」NYCE Corporation のデータセンター運営責任者 Michael Colgero 氏はこのように語っています。「世界は大きく変化しています。多くの企業においては、もはやシステム停止は許されないのです。電話におけるダイアル・トーンのように、NonStop テクノロジーは私達の顧客に『トランザクション・トーン』を提供してくれます。」

他の NonStop ユーザもこの意見に賛同しています。「1990 年代後半には、保守のために月に 2 時間から 4 時間のシステム停止が必要だったことでしょうが、現在では停止は許されません。」このように話すのは、米国内の 30,000 台以上の ATM を処理する Genpass で事業担当副代表を務める John Sandridge 氏です。

Sandridge 氏は続けます。「一瞬もシステムを止められない企業は、多くの場合その裏で HP NonStop サーバが稼動しています。たった 5 分間の停止時間が、多くの企業のビジネス活動を不能状態に陥れることになります。(中略) 一度顧客を失った企業は、そのビジネスを取り戻すために、おそらく 4 倍の時間とリソースを費やさなければならないでしょう。」

Sandridge 氏は NonStop プラットフォームを採用し続ける理由をこう話します。「NonStop プラットフォームを稼動していれば、全てのハードウェアがホットスワップ対応なので、夜は枕を高くして眠れます。他社の最近のハードウェア・プラットフォームは、公表している真のアップタイムを証明できていません。HP NonStop サーバでは、機器交換に際しても再起動が不要で、キャッシュに問題を生じません。全てがホットスワップ対応のため、ディスクやコントローラの交換で運用に影響を与えることがありません。」

HP Integrity NonStop サーバに高可用性と素晴らしい未来をもたらす Itanium® プロセッサ

企業では、ビジネスと IT を同調させ、アダプティブ・エンタープライズを実現するために努めており、クリティカルなビジネス・プロセスに継続性を提供することは非常に難しい課題となっています。このため、Itanium® プロセッサ・ベースの HP Integrity NonStop システムには、ユーザが HP NonStop サーバに求めるホットスワップ対応などの全ての高可用な機能を取り込み、さらに向上させています。この新しいサーバでは、可用性に合わせた構成を選択することができます。二重化構成 (Dual Modular Redundancy :DMR) と、三重化構成 (Triple Modular Redundancy :TMR) オプションによって、これまでの 99.999% を一桁高めた高可用性を求めるユーザに魅力的な選択肢を用意しています。

究極のビジネス継続性を提供する新 HP Integrity NonStop サーバの三重化構成

HP Integrity NonStop サーバの新しい三重化構成オプションは、極めて高い可用性を必要とする企業のために設計されています。すべての HP NonStop サーバは並列プロセッサのシステムであり、オペレーティングシステムはそれぞれの個別のプロセッサで独立して動作し、インストラクションも独立したプロセッサで実行されます。処理中にエラーが検知されると、他の正常なプロセッサに処理が移ります。しかし、新しい三重化構成では、3 個のプロセッサが 1 つの論理プロセッサとして並列で稼動します。この場合のエラー発生時の処理について、HP の担当者はこう説明します。「もし 3 個のプロセッサの実行結果が一致しなかった場合、どのプロセッサが誤っているかを多数決で決めるのです。」結果が一致した 2 個のプロセッサによって、何事も起こらなかったかのごとくインストラクションが実行されます。

「一刻もシステムを止められない企業は、その裏でたいてい HP NonStop サーバを稼動させています。」
- Genpass 社の事業担当副代表
John Sandridge 氏

これは、複数の業界がクリティカルと認める重要な機能であり、HP NonStop サーバが最高のサービスレベルを実現するために必要な優れた機能の一つです。

Genpass の Sandridge 氏はこのように締めくくっています。「三重化構成はとても優れています。フェイル・オーバー機能の観点から見て、HP Integrity NonStop サーバに組み込まれたこのアーキテクチャを超えるものは他に存在しません。」

24 時間 365 日稼動のアダプティブ・エンタープライズのための HP Integrity NonStop サーバ

しかしながら、可用性に対するこのような機能は、HP がユーザへ提案する全体像のほんの一部分でしかありません。多くのユーザが HP に求めているのは、ビジネス・ニーズの変化に適応するためのサポートです。Mecca 氏は次のように話しています。「HP のサポート / サービス要員は、システムを停止させずに最終的に 16 プロセッサまでアップグレード可能なシステム構成方法を示してくれました。これは次のような点で重要になります。私達が新規顧客を獲得すると、より多くのボリュームのサポートが必要になりますが、30 日から 45 日の間により大きなプロセッサ構成システムへとアップグレードできるため、顧客をトラブルにさらすことなく受け入れられるのです。つまり、私達は、ビジネスの需要に応じた対応が可能となり、これこそが重要なのです。」

新しい HP Integrity NonStop サーバでは、処理要求の素早い変化に対応する性能を強化するための機能が大きく向上しています。アプリケーションの仮想化機能によって、人件費の増加を抑え、かつサービスレベルを下げずに、また、ユーザへのサービスを絶やすことなく、主要ビジネスの急激な伸びに対応することができます。業界唯一の高可用な仮想アプリケーション環境によって、これを可能にしています。

さらに、HP NonStop サーバの新しいオペレーティングシステム Mission Critical Operating Environment では、1 つのアプリケーションを 16 プロセッサ構成の 255 システム、合計 4,080 プロセッサの間で分散することができます。

24 時間 365 日のビジネス継続性を実現する、標準ベースの新世代のサーバ

Itanium® プロセッサ・ベースの新しい HP Integrity NonStop サーバの真の価値は、より低価格な標準ベースのアーキテクチャを採用したことにより 24 時間 365 日稼動が必須の企業ビジネスの新世代において、これまで使用してきたものと同じ標準環境と開発ツールを継続して使用しながらビジネス継続性を実現できる点にあります。ここで採用されている標準ベースのアーキテクチャとツールを次に紹介します。

- 開発者は、Windows® マシン上で Microsoft® Visual Studio を用いて、NonStop 環境用コードのコーディング、修正、クロスコンパイルができます。Java ™、J2EE、RMI-IIOP、といった最新の言語と API がサポートされています。
- CORBA および XML/SOAP と同様に、SOAP、Web サービス、EAI がサポートされています。
- HP Integrity NonStop サーバでは、SQL API、ODBC、JDBC が使用できます。
- HP OpenView ソフトウェアの構成とセットアップが容易になりました。新しい閾値とメッセージ・キュー、そして 256 ノードの NonStop サーバのサポートを実現しています。さらに、銀行用および NSP 用の主要アプリケーションが HP Integrity NonStop サーバの HP OpenView ソフトウェアにより管理できるようになりました。
- 標準インタフェースのサポートにより、HP NonStop サーバを用いて Windows、Linux®、UNIX® システムを統合できます。このため、これらの異機種混在環境を HP OpenView と Systems Insight Manager 5.0 の組み合わせによって一台のコンソールから管理できるようになります。それぞれのオペレーティングシステムを個別に管理する必要はありません。

標準ベースのアーキテクチャを採用した HP Integrity NonStop サーバの登場によって価格性能が向上しました。ストレージ、ハードウェア、データベース、ソフトウェアなどの全てを搭載したシステムの同一性能を提供するためのコストは、場合によっては、前バージョンの HP NonStop サーバに比べてほぼ半分になります。これにより、長期的に高可用性を必要とし始めたビジネスにおいては、新しい HP Integrity NonStop サーバシリーズを購入するチャンスが到来したことになります。

ほんの一瞬のシステム停止も許されないということを企業が次々と認識し始めるにつれて、投資家が当初から見通していたとおり、HP NonStop サーバを採用する会社は増加の一途をたどることでしょう。NYCE の Mecca 氏はこう締めくくりました。「これはコンピュータ業界で最も良く守られている秘密事項なのですが、私達は常に他のプラットフォームも評価しているのです。しかしその結果、変わらずに HP の NonStop プラットフォームを採用しているのです。」

⚠ 安全に関するご注意　ご使用の際は、商品に添付の取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ
03-6416-6512　月～金 9:00 ～ 19:00　土 10:00 ～ 18:00（日、祝祭日、年末年始および 5/1 を除く）
HP Integrity NonStop サーバ製品に関する情報は　http://www.hp.com/jp/nonstop

インテル、Intel、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、インテル Centrino、インテル Centrino ロゴ、Celeron、インテル Xeon、Intel SpeedStep、Itanium および Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
UNIX は、The Open Group の登録商標です。
記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
記載事項は 2005 年 9 月現在のものです。
本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。
©Copyright 2005 Hewlett-Packard Development Company,L.P.

日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒 140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

invent